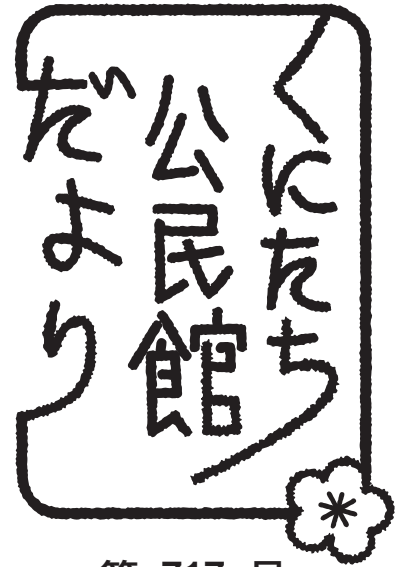


# 平和について考える

## —過去・現在を知り、未来を見つめる—

今年度は「平和」をテーマに連続講座を実施しています。第4回までの講座に参加された方の感想を紹介します。



第 717 号

2019年11月5日  
(令和元年)

「くにたち公民館だより」  
ホームページのQRコード▶



第1回 南スーダンの現状と今後について

平和について考える連続講座を受講したいと考えたのは、閉塞感が強まる時代風潮に危惧を抱いたからです。(第1回の講座は都合により不参加)

第2回「シリアの『今』から平和を考える」ふるさとを失った難民たちの日々を通して「は、フオトグラフィアー、登山家の小松由佳氏のお話でした。

平和について考える連続講座を受講して  
J・O

発行  
**国立市公民館**  
〒186-0004  
国立市中1-15-1  
TEL 042-572-5141  
FAX 042-573-0480  
休館日：毎週月曜日



第2回 シリアの「今」から平和を考える

小松氏のご主人はシリアからの難民で、戦火にまみれた祖国から大きな覚悟で日本に逃げ出すことができたが、言葉・就労・国籍獲得など大きな壁が立ちわだかまっていたそうです。

第3回「特攻の真実」なぜ、誰も止められなかったのか」は、NHKエンタープライズの大島隆之氏のお話でした。

昭和19年に始まったフィリピン・レイテ戦で初めて十死零生の体当たり自爆攻撃(特攻)が開始された。戦果に微かな望みを期し、

### 今月の公民館 (11月、12月初)

\*印は参加自由、他は事前申込みが必要です。

- 7日(木)夜 くにたちブッククラブ 古処誠二『中尉』
- 30日(土)昼 男性の料理教室
- 30日(土)昼 目で見て楽しむプログラミング体験
- 12月5日(木)夜 社会教育学習会 国立を見える化する～データで知る地域～
- 6日(金)夜 記録を残し、記憶を伝える ～わたしたちの暮らしと「アーカイブズ」～
- 8日(日)昼\* 図書室のつどい 「このことわざ、科学的に立証されているんです」
- 14日(土)朝 青年講座 「高校にある“居場所カフェ”とは? ～社会の生きづらさと若者への寄り添い型支援～」
- 15日(日)朝 平和について考える連続講座⑤ 「杉原千畝 命のビザ～その生涯から平和を考える～」

第4回「音楽から見つめる希望」スラムから聴こえる小さな音楽家達の豊かな響き」は、千葉明徳短期大学教授、ギターリストの明石現氏によるお話でした。

まず講師が胸の前で指で描いた文字(漢字やひらがな)を読むこと、続いて指文字(手話)の基本

かつ講和条約締結の機会とするためであった。しかし特攻は期待以上の戦果を挙げた。戦争末期には、物資がなくなり戦闘に耐えられない練習機による特攻まで行われた。そして残念ながら昭和20年8月の広島、長崎の原子爆弾投下まで戦争を終わらせることができなかった。

「白い手の合唱団」があります。子どもたちは白い手袋をして手話で歌っています。映像の中のインタビューで「音楽は好き?」と質問され「大好き。音楽のない生活なんて考えられない。」と答えています。因みにウィーンフィル・ニューイヤークンサート2017で指揮者を務めたグスターボ・ド

の説明と実際に行うことから始まりました。

続いてエル・システマの話がありました。このプログラムは貧困や犯罪等が原因で十分に教育を受けない子どもたちに音楽教育を行うもので、その中に聴覚にしようがいのある子どもたちの合唱団



第4回 音楽から見つめる希望

ウタメルはエル・システマ出身です。白石氏も、2014年学生たちと「福祉の音プロジェクト」を発足し、手話合唱の活動をしています。

田上富久長崎市長が今年の8月9日、74回目の原爆記念日の平和宣言で、「核保有国に対し核拡散防止条約(NPT)で課せられた義務を履行するよう、また日本政府に対し核兵器禁止条約に署名・批准するよう」求めました。大変重い言葉です。わが国にはいくつかの戦争の被害者の尊い犠牲の上で獲得した「日本国憲法」があります。日本国憲法は基本的人権の尊重・国民主権(民主主義)・平和主義の三つの基本原理を掲げています。日本国憲法のもと、わが国は戦後74年間戦死者を出さなかった崇高な実績があります。この日本国憲法を世界に紹介し平和な世界につなげることができたら良いのと思います。

平和講座 「特攻の真実」に参加して  
山本 豊充

平和講座「特攻の真実」なぜ、誰も止められなかったのか? (8月4日(日)実施)にご参加いただいた方から、学童疎開中に出会った特攻隊の方々との思い出をお寄せいただきました。

「今、日本はいい国ですか?」この言葉から始まる、国立高校文化祭で三年生のあるクラスの劇「流れる雲よ」という出し物は、大変、考えさせられる内容でした。特攻基地を舞台に特攻兵たちの思いを具体化して皆さんに見せる行動ができる...18歳くらいの年齢でも、しっかりと考え、伝えていました。

この演劇を見る少し前に、「特攻の真実」なぜ、誰も止められなかったのか? (NHKエンタープライズ大島隆之さん)という公民館講座があり参加しました。講師の話の中で、特攻を止める...そんなことが話題にでていたことを聞き、信じられませんでした。私は、昭和19年8月頃、世田谷区から長野県松本市にある浅間温泉 目の湯の別館に学童疎開をしていました。その時、本館には、



第3回 特攻の真実

広森隊長が率いる特攻隊の人たちがいて、本館・別館で分かれてはいましたが、何ヶ月間か一緒に過ごしました。ある日のこと、松本飛行場に連れて行ってもらい、飛行機に乗った隊員たちが横転、逆転、宙返り、さらに「サヨナラ」と翼を振るのを見せてもらいました。その帰りには、当時は草茫茫々で埃だらけ、あちこち穴が空いた幽霊のような松本城に行き、壊れた階段を登ったりしたのを覚えています。また、隊員のひとり伊藤少尉は、松本市内に彼女がいて、その方のお腹には赤ちゃんができていたと知ったそう、松本から帰ってくると、お酒を飲んでとても暴れたらしく、別館にいた広森隊長を呼びに結城少尉が慌ててとんで来たのを、とても印象強く覚えています。そして出発の日、目の湯の前には、特攻隊員と私たちは整列して

お別れ...目の湯の上空をぐるぐると旋回し飛んで行きました...広森隊長たちは、沖繩に米軍が上陸してきたときに飛び立ち、敵艦に突入していきました。その夜のニュースで、「広森中尉以下みんな二階級特進、二階級特進」と伝えていたのが、今も耳に残ります。今、憲法九条のこと、自衛隊のあり方など議論が出て、今後、国会で審議が進められていくことと思います。そうした中、戦争体験

者が次々といなくなり、当時のことを語られることが少なくなってきました。そして、平和国家の中で私たちは自由を満喫しています。「今、日本はいい国ですか?」



〈平和について考える連続講座⑤〉  
杉原千畝 命のビザ  
~その生涯から平和を考える~

講師 岩村 太郎 (恵泉女学園大学)

「杉原千畝」という人をご存じですか? 第二次世界大戦中、日本領事館領事代理として赴任していたリトアニアで、ナチス・ドイツから迫害されていた多くのユダヤ人たちにビザを発給し、約6,000人のユダヤ難民を救った人です。それは、組織の服務規律にそむき、人命救助を行うという苦渋の決断でした。発給したビザは「命のビザ」と呼ばれ、救われた人はその子孫も合わせて現在25万人以上に及ぶと言われ、世界各国で活躍しています。

この勇氣ある決断をした杉原千畝とはどのような人物だったのでしょうか。その生涯を研究されている岩村さんにお話を伺い、「平和」を考える機会にしたいと思います。

とき 12月15日(日)朝10時~12時  
ところ 公民館 地下ホール 定員 50名(申込先着順)  
申込先 11月14日(木) 朝9時~  
公民館 ☎ (572) 5141

### 講座参加者の声

今年度実施した講座の中から、2つの講座の様子をお届けします。講座の雰囲気を感じていただき今後開催される講座もぜひご参加ください。

「好きの交差点  
ふるまい〇円市」に参加して

NHK学園高等学校(3年次生)  
山下 優里

動を想定して非常食作りをしたりもしました。校外活動は、くにたちカルタや子ども食堂のお手伝い、国立市内のごみ拾いや自然を守る活動など、自分たちにできる活動をしています。

出店したきっかけは、部活(ソールシャルアクティビティクラブ・通称SAC)の顧問の先生の紹介でした。SACは、ボランティア部のようなもので、月に1度の定例会と月に数回の校外活動をしています。定例会は、活動報告をしたり、部員同士の交流を深めるためにくにたちカルタやポッチャをしたり、災害でのボランティア活



谷保第四公園の木漏れ日のなかで

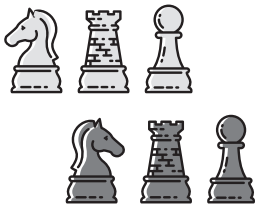
まず最初の出店は、朝顔市での「白黒つけよう屋」でした。店名からも想像ができるかもしれませんが、来店してくれた方にオセロとチェスの対戦相手をしてもらうというものでした。でも、別にオセロとチェスの腕に自信があったわけではありません。むしろ、チェスなんてルール説明を読みながらやったくらいです(笑)。実際に始まるまでは、「誰か来てくれるかな…」とか、「初対面の人とうまくできるのかな…」とかいろいろ



出店者と来店者の楽しい交流

雨で肌寒く、朝顔市の客足も少なめだったことも不安の要因となりました。でも、始めてみると、来店者だけでなく他の出店者の方も見つかりました。もちろん初対面の人はばかり。始めてみると、初対面だからこそ心地いいこともありました。いろいろな不安もあ

ったのだけれど、オセロやチェスなど特別とはいえないゲームで、たくさんの方と交流できて楽しい時間が過ごせる「ソーシャル屋台」ってすごい!と実感しました。そんな感動を味わったので、2



次回は一緒に出店しましょう

回目も出店したい!と想像していたら、進学に関わる大切な試験が同じ日に…。それでも行きたいという気持ちがあり、試験が終わったその足で出店場所に向かいました。前回の大学通りとは違って、天気の良い休日の公園は子ども連れの親子でにぎわっていました。折り紙やバルーン、電車屋さんなどに占いで、今回も様々な分野の方が出店していました。途中参加の私も快く受け入れてもらえました。短時間でしたが、様々な方と交流できてとっても楽しかったです。

今回の講座に参加するきっかけになったのは、私の祖母が草花が好きで、小学生の頃、夏休みの自由研究で『押し花』をしたのを思い出したからです。当時を思い出しながら、先生のお話を聞いておりました。

「身近な薬草と毒草」に参加して  
片岡 正志



最初に、「薬食同源」と「医食同源」のお話。薬食同源は、食生活を大事にしないといけない中国医学のこと。医食同源は、医療を大事にしないといけない日本の造語であるとのこと。私は医食同源が日本の造語とは知りませんでした。それも、NHK「きょうの料理」で初めて使われたとは意外でした。次に、葛根湯の話に入りました。私のイメージは「風邪をひいたら葛根湯」というフレーズです。そこで、配剤されている生薬に、葛根、大棗、甘草、桂皮、生姜、芍薬、麻黄がある。それぞれの生薬の役割に注目し、紹介されました。



身近な薬草にこんな効率が

以降に印象に残った薬草を紹介  
します。一つ目は七味唐辛子。江  
戸時代に両国の薬研堀で考案され、  
日本独特の調味料(スパイス)で  
あるというお話がありました。原  
料をみていくと、薬用として用い  
られているものの一つにトウガラ  
シがあります。日本へは豊臣秀吉  
が朝鮮出兵の際、持ち帰ったとい  
う説があるそうです。二つ目はア  
サ。茎の繊維を布などに利用しま  
す。三つ目はサンショウ。果皮を  
サンショウといい、辛味芳香性  
健胃薬・香辛料として利用しま  
す。四つ目はゴマ。日本への渡来は不  
明ですが、奈良時代には栽培され  
ていました。種子をゴマといい、  
食用、油脂を軟膏の基材として利  
用します。ひび、あかぎれ、しも  
やけに効く「紫雲膏」などに用い  
られます。五つ目はウンシユウミ  
カン。日本の代表的な柑橘類、単  
にミカンともいいます。果皮をチ

ンピといい、芳香性苦味健胃薬と  
します。また入浴剤として利用可  
能です。最近人気の、エッセンシ  
ヤルオイル(皮膚の炎症を起こす  
こともある)、アロマセラピー(か  
ぶれに注意)なども利用されて  
います。色々と気をつけたいと思  
いました。六つ目はケシ。種子を  
オウゾクシといい、下痢を止める  
止瀉薬しりやくとなります。また乳液をア  
ヘンあへんといい、鎮痛薬や鎮咳薬ちんがいやくなど  
に用います。現在、インド、オー  
ストラリアなどから輸入されてお  
り、日本では医療用としての栽培  
は中々難しいのが現状のようです。  
この他にも、食材とする身近な  
薬草、身近な毒草のお話がありま  
した。最近のニュースでも有毒植  
物を食用の植物と誤って食べて食  
中毒になる事例がありました。食  
用と確実に判断できない植物は、  
絶対に採らない、食べない、人に  
あげないようにすることが大切で  
す。今回の講座で改めて勉強にな  
りました。また、実際に体験など  
するには、小平市にある東京都薬  
用植物園に行きたいと思えました。  
貴重なお話を伺うことができ、と  
てもよかったです。



〈若者対象・青年講座〉

## しょうがいのある人も一緒に学ぼう 目で楽しむプログラミング体験

パソコンで絵を描き、それを動かして楽しむプログラミ  
ング体験。第1回目は簡単な顔を描き、動かす、第2回目は  
画面上でボールを動かし、端につくと動きを変えるとい  
う少し高度なプログラムを行いました。いろいろな表情や  
動きあり、楽しい時間になりました。他のプログラミング  
言語の入門にもなります。もちろん3回目からでも参加で  
きますので、ぜひ奮ってお申し込み下さい。

講師 <sup>ただし</sup>宇佐美 理 (青年室スタッフ)

とき 11月30日(土) 昼2時~4時

ところ 公民館1階 青年室



対象 しょうがいのある方と一緒に活動することに関心  
のある高校生から40歳くらいまでの方。身体・精神・  
発達<sup>たつた</sup>のいずれかのしょうがいのある方の参加  
大歓迎です(後日面談をする場合があります)。

備品 ノートPCをご準備ください。  
借用したい方はご相談ください。

定員 5名(申込多数時抽選)

申込先 11月7日(木)朝9時~  
公民館 ☎ (572) 5141

〈青年講座〉

## 高校にある「居場所カフェ」とは？ —社会の生きづらさと若者への寄り添い型支援—

現在、不登校やひきこもり、労働問題など、若者をとり  
まく社会の生きづらさへの関心が高まっています。

こうした中、全国で実践が広がっている「校内居場所カ  
フェ」。これは、学校の一室をカフェとして生徒に開放  
し、「家庭でも学校でもない第三の場所」にしようとする  
取り組みです。辻田梨紗さんは、その第1号「となりカ  
フェ」を2012年に大阪府西成高校内に立ち上げ、高校生  
の居場所づくりとソーシャルワークに取り組んできました。

この講座では、辻田さんによる校内居場所カフェのお話  
を通して若者の現状について学びます。公民館と連携して  
子ども若者支援事業を進めてきた、NHK学園高等学校に  
会場をお借りします。コーヒーを飲みながらカフェのよ  
うな雰囲気の中で、私たち一人一人に何ができるのかを考  
えてみませんか。当日は公民館「喫茶わいがや」のスタッ  
フがコーヒーをお出しします。

講師 辻田 梨紗(一般社団法人officeドーナツトーク)

とき 12月14日(土) 昼1時半~3時半

ところ NHK学園高等学校BC教室

定員 30名(申込先着順)

申込先 11月7日(木)朝9時~

公民館 ☎ (572) 5141

sec\_kominkan@city.kunitachi.lg.jp



\*公民館では、青年室や「喫茶わいがや」など様々な  
活動にボランティアの青年が関わっています。「青年  
講座」は、そんな若者が企画した講座です。

〈図書室のつどい〉

## このことわざ、科学的に立証されているんです



お 話 堀田 秀吾 (明治大学)

みなさんには、好きなことわざはありますか？そのことわざは、真理を突いていると感じますか？

ことわざは、私たちの行動や森羅万象を実に的を射た形で言い表す、偉大なる先人たちの観察、洞察、知恵、経験を積み上げてきた歴史の集大成です。こうしたことわざに果たしてどのくらい科学的根拠があるものなのでしょうか。

私たちが慣れ親しんできた「ことわざ」の科学的根拠について、言語学、社会心理学、脳科学など様々な研究をされている堀田さんからお話を伺います。

〈堀田さんの本〉

表題作 (主婦与生活社) のほか、『科学的に元気になる方法集めました』(文響社) ほか多数。



と き 12月8日 (日) 昼2時～4時

ところ 公民館 講座室 定員 35名 (当日先着順)

\*申し込みは不要です。ご自由においでください。

〈社会教育学習会〉

## 国立を見える化する 第1回 ～データで知る地域～

講 師 中西 英一郎

(多摩信用金庫経営戦略室地域経済研究所)

コーディネーター 猪飼 周平 (一橋大学大学院)

社会教育機関の公民館は、社会教育法に基づき設置され、市民の実際生活に則する教育、学術及び文化に関する各種事業を行うこととされています。

こうした市民の学びを支える公民館が、これまで以上に利用され、地域の中で魅力ある公民館としていくためにはどうすればよいのか、数回にわたって考えていく講座です。

第1回目は、国立市の現状、とくに「市民の暮らし」に係る統計やデータ等に焦点をあて、それらの分析とワークショップを通じて、国立市を俯瞰して把握し、私たちが生活している地域の理解を深める機会とします。

と き 12月5日 (木) 夜7時～9時

ところ 公民館 地下ホール

対 象 市内在住・在勤・在学の方

定 員 50名 (申込先着順)

申込先 11月8日 (金) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

\*この学習会は公民館運営審議会との共同企画です。

〈男性の料理教室〉

## 鶏肉の赤ワイン煮

冬のおもてなし料理を作りましょう。手軽に比較的短時間でできあがります。他に味付きライス、いろいろな野菜を刻んで混ぜるチョップドサラダ、デザートにりんごのフランを作ります。4～5人のグループ形式で行います。日頃、料理をしない方も大歓迎です。皆さんと一緒に料理をして食べましょう。

講 師 北川 みどり (管理栄養士)

と き 11月30日 (土) 朝10時～昼1時

ところ 福祉会館 3階料理講習室

定 員 16名 (申込先着順)

費 用 一人800円 (材料費)



11月27日 (水) までに公民館の窓口でお支払い下さい (受付: 月曜日以外の朝9時～夕5時)。講座当日にお支払いはできません。費用の精算は講座当日いたします。食材購入後のキャンセルは払い戻しできません。

持ち物 エプロン、三角巾 (タオル、バンダナ可)、筆記用具、ポリ袋 (ゴミ持ち帰り用)

申込先 11月7日 (木) 朝9時～

公民館 ☎ (572) 5 1 4 1

〈しょうがいしゃ青年教室〉

## 陶芸講座作品展

陶芸講座の参加者が作った、作品を展示します。作品展終了後は公民館の喫茶「わいがや」で使われます。おいでください。

と き 12月7日 (土) 昼3時～12月14日 (土) 昼1時半

ところ 公民館 1階市民交流ロビー

\*陶芸講座は、くにたち郷土文化館で6月から10月まで行いました。



〈くにたちブッククラブ 言葉に寄りそい時間を超えよ〉  
**古処誠二『中尉』**  
(角川文庫)

講師 榎本 正樹 (現代日本文学)  
とき 11月7日(木)夜7時半～9時半  
※当初の予定より1週間早まっています。ご注意ください。  
ところ 公民館 3階講座室  
申込先 公民館 ☎ (572) 5 1 4 1  
\*この講座はあらかじめ作品を読んできて、参加者が読み  
を出しあいます。そのあと講師のお話を聞きます。

**記録を残し、記憶を伝える**  
～わたしたちの暮らしと「アーカイブズ」～

「公文書」や「アーカイブズ」。昨今のニュースで耳にされたことも多いのではないのでしょうか。けれどそれは自分とあまり関係のないものと考えていませんか？  
公文書に残された記録は、私たちの暮らしに関わる様々な情報を知るための手がかりです。そして、近現代の資料を残さなければ、伝えるべき大切な記憶が失われかねません。今回は、公文書管理と情報公開の課題・ハンセン病の記憶を伝える資料という2つの視点から、記録を残し、記憶を伝える意味を考えます。

**第1回 公文書管理と民主主義**  
—なぜ、公文書は残されなければならないのか?—

講師 瀬畑 源 (成城大学)  
とき 12月6日(金)夜7時～9時

**第2回 記憶を伝える資料たち**  
—ハンセン病の記録から考える—

講師 石居 人(一橋大学)  
とき 1月12日(日)昼2時～4時

ところ 公民館 3階集会室  
定員 30名  
\*1回からの申込み可能  
申込先 11月12日(火)朝9時～  
公民館 ☎ (572) 5 1 4 1



**公民館をキレイにしよう!**  
**でピカピカになりました!**

会場調整会やチラシで呼び掛けた「公民館をキレイにしよう!」。  
10月21日(月)午後、市民と職員総勢26名で階段手すりや3階各会場の扉・地下ホールで使用する舞台の塗装、ホールの椅子拭き、給湯室のトレー洗浄などを行いました。公民館内が明るく、きれいになりました。



呼び掛け  
・第64回くにたち市民文化祭 実行委員会  
・公民館利用者連絡会  
・くにたち地域外国人のための 防災連絡会



**公民館運営審議会報告**  
10月8日(火)第32期第12回定例会を開催。委員11名、館長、職員2名出席。傍聴人3名。  
**前回議事録確認**  
**報告事項**  
○公民館だより編集研究委員会  
10月2日の委員会報告。広報の方法など若い人の参加につながる取り組みが必要。  
○社会教育委員の会  
情報発信に関する意見交換の2回目を実施。情報を得にくい人に伝える工夫について検討。  
○東京都公民館連絡協議会  
開催なし。  
○その他  
公民館だより等について。誤字があるので注意してほしい、公運

審報告が市民にきちんと伝わるよう目立つところに掲載してほしいといった意見が出された。  
**委員研修**  
○前回の研修内容についての質疑  
社会教育法改正後も現状の社会教育行政の枠組みを壊さないでほしい旨の要望書を市長、教育長に提出する。  
○市民からの要望書対応について  
市民と公運審との懇談会実施について社会教育学習会終了後にあらためて検討する。  
○社会教育学習会について  
12月5日(木)第1回学習会を実施予定。講師の講義、ワークシ  
ョップを通して国立市の現状を知り、公民館活動の活性化を考える。  
次回定例会は11月12日(火)夜7時15分から。傍聴歓迎。(池田)

〈公民館の窓〉  
まちでの遊び方を模索  
自分の好きなコトで屋台を  
広げてみる

若者はどこで遊んでいるのだろうか?上野公園のように、大道芸がいたり、ベンチでおしゃべりをしたりする、道行く人が交流している風景が増えてほしいと思いい、「好きの交差点ふるまい0円市」という屋台出店体験の企画を立ち上げました。  
8月に谷保第四公園にカラフルな小さいな屋台が並び、若者や大人、高校生がオセロ勝負、電車の話など、自分の好きなコトをお金

を取らず、「ふるまい」という形で、公園にきている人と交流をしました。(具体的な感想はP3の参加者の声を参照)  
バルンアートづくり屋台では、店主から風船と説明書もらい、近くのベンチで親子と一緒に作品作りに奮闘していました。パイン、パインと風船が割れる乾いた音とともに、「これ難しいな」「おとうさん、頑張つて」と親子の会話が聞こえていました。公園にいたバルンアートが上手なお母さんが待っている子どもに作品をつくってあげたりするなど、店主以外の交流が生まれていました。こんな風景がまちにあつたら、散歩も楽しくなるのでは、と嬉しくなりました。(A・T)

# ひるば

(8ページにもあります)



秋の実り  
人見宣彦さん(西)

## 歌へのお誘い「ひまわりの会」

楽しくうたいませんか!!

川端景先生ご指導のもと懐かしい日本の歌、童謡、唱歌、世界の抒情歌を名伴奏と共に情感をこめて歌います。見送歓迎、会費月千円。  
日時 第二、四水曜日 朝10時  
場所 北市民プラザ多目的ホール  
連絡先 新里(57) 1062

## よさこい一美会メンバー募集!

お祭りイベントでよさこいを一緒に楽しく踊りませんか?どなたにでも簡単に覚えられる踊りです。笑顔で踊って健康増進。お祭好き集まれー!

日時 毎週火曜、木曜、土曜  
場所 公民館 地下ホール他  
連絡先 大空(080)1202) 1103

## フルーツ会員募集「桜音の会」

半年に一回新曲に取り組んでいます。秋の市民文化祭で発表しています。少しずつ綺麗な音のハーモニーが仕上がっていく喜びはグループでしか味わえない喜びです。  
日時 第二・四火曜日 夜6時  
場所 市の施設  
連絡先 西村(090)1210) 2640

## アクアかもめ水泳会員募集

運動不足の方、健康な体づくりに水泳を始めてみませんか。初心者、上級者、泳力別にコーチの指導を受けて泳ぎます。男女問いません。体験可。

日時 毎週金曜日 朝10時~12時  
場所 総合体育館 室内プール  
連絡先 梶原(042)574) 8633

## 第64回くにたち市民文化祭

令和元年 輝け くにたち  
開催中!

公民館をはじめ市内各施設で、美術展や伝統文化行事など、さまざまな催しが行われています。

文化祭をきっかけに、活動の輪、仲間作りの輪を広げてみませんか。どなたでもお気軽にご参加ください!



### ◆11月上旬~12月の催し

11月: 日本語学習者によるスピーチの会、「曙光」ライブコンサート、着物と民族衣装体験、総合美術展、みんなで楽しむおはなし会、国際茶会、芸能フェスティバル、おいでよ!ベビー&キッズ ソプラノ・デュオ コンサート Vol. 2、第45回くにたち絵画グループ展、国立茶道連盟による市民茶会、かのご着物がたり一kanokoの軌跡一、ガムラン演奏&演奏体験、グリーンコーラス公開レッスン、第49回国立市書道展、焼きたてのマドレーヌとフシギな紙芝居

12月: ピースリーディング・平和への願いをこめて...、こぎつねの会 第2回発表会、長唄演奏会、都山流尺八発表会

\*詳細は公民館などで配布しているパンフレットや、国立市ホームページ、「公民館だより」10月号などをご覧ください。

## 一歩踏み出しませんか埋木会

俳句に興味を持ち気になっている方、思い切ってホップステップジャンプ句会に参加しましょう。岡山祐子先生が明るく前向きに大きな声で楽しく指導下さいます。  
日時 第一木曜日 昼1時  
場所 郷土文化館 第一研修室  
連絡先 古田(03)353) 5785

## クラシックギタートリオ発表会

トリオ「アークル」が、愛の挨拶、トロイメライ、コルドバなどを演奏します。ソロ、デュオ、ピアノとのアンサンブルもあります。入場無料。開場昼1時40分  
日時 11月9日(土) 昼2時開演  
場所 芸小ホール、スタジオ  
連絡先 小宮(090)402) 6974

## 数学を楽しむ集い(11月期)

一筆書きが出来るかどうか判定する原理であるグラフ理論や球面上の不思議な幾何学を紹介します。きつと数学を身近に感じていただきます。お気軽にお越し下さい。  
日時 11月16日(土) 昼1時  
場所 公民館 集会室  
連絡先 山本(572) 1028

## ガールスカウト東京都第145団

年長小学生の少女を募集しています。様々な体験を通し、自ら考え行動する力を養います。説明会にお越しください。保護者対象  
日時 12月1日(日) 朝10時~12時  
場所 福祉会館 中会議室  
連絡先 高橋(577) 4395  
girlsouts.tokyo.145@gmail.com

## 第40回北文化祭のご案内

爽やかな秋の一日、多くの皆様のご来場をお待ちしています。保育園児や小学生、市民の作品展・やじ北横丁の模擬店・古本市など  
日時 11月16日(日)朝9時半~5時  
11月17日(日)朝9時半~3時  
場所 北福祉館  
連絡先 緑川(080)679) 3948

## オウタムコンサートお誘い

久保田先生ご指導の四団体の夕べをお楽しみ下さい(無料)。尚ピアチェヴォーレは毎月第一・三水曜日スペースコウヨウにて歌っています。是非お出かけ下さいませ。  
日時 11月17日(日) 夜6時半  
場所 いずみホール 西国分寺  
連絡先 清水(042)574) 2128

# ひろば

(7ページにもあります)



## 起立性調節障害ソレイユ

成長期に多い病気起立性調節障害の家族対象。すっきり出来る笑いヨガ講座&茶話会。HPに詳細有。(笑いヨガ800円茶話会200円)

日時 11月13日(水) 昼1時  
場所 公民館 音楽室  
連絡先 片岡(525) 7122  
<http://odsofeil.amebaownd.com>

## 琉球処分とは何だったのか?

琉球処分から140年。明治日本は何を奪い、琉球はいかに抵抗したのか?講師 後田多敦さん(神奈川大学准教授) 資料代500円。主催 辺野古とつながろうひたま

日時 11月16日(土) 昼2時  
場所 総合体育館 会議室  
連絡先 梶山(924) 0157

## ひとり分の簡単ご飯を作ろう!

ひとり分の食事を賢く手抜きし楽しんで楽しく作りましょう。シンブルな食材で電子レンジを活用しチキンロール・茶碗蒸し・栗蒸し羊羹を作ります。材料費込500円。日時 11月30日(土) 昼2時 要予約  
場所 宙 谷保駅北口徒歩1分  
連絡先 たまりば宙(843) 0443

## 地震と原発映画会東電刑事裁判

9月19日東電幹部三人を訴えた裁判で、東京地裁は無罪を言い渡しました。動かぬ証拠と原発事故について、映像を見ながら裁判所はなぜ誤ったのかを考えましょう。

日時 11月30日(土) 昼1時半  
場所 公民館 和室 資料代500円  
連絡先 大貫(90) (6030) 9509

## \*公民館の外壁工事を実施しています\*

公民館は、1月15日までの工期で外壁工事を実施しています。工事の時間は、日曜日を除く平日及び土曜日、祝日の午前8時から午後6時です。工事期間中の施設利用に際して、駐輪場の使用等が不可(11月末頃までを予定)となっております。工事音や振動が生じています。

ご利用の皆様にはご不便をお掛けいたしておりますが、安心してご利用いただける施設づくりを目指しますので、皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。  
公民館 ☎ (572) 5141

## \*「ひろば」写真募集\*

国立の風景や行事、自然などの写真を募集しています。ご協力いただける方は公民館までご連絡ください。

## 「ひろば」欄投稿規定

市内の団体・グループ活動のお知らせの場です。

原稿の締切りは、掲載希望月の前月7日の午後5時です(7日が月曜日の場合は、翌日の8日まで)。原則として掲載月の7日から翌月6日までのお知らせを掲載します。公民館備付けの原稿用紙に団体名・サークル名を含めてお書きください。氏名には振りがなをふってください。会員登録は6カ月に一回掲載することができですが、紙面の都合により翌月掲載とすることがありますので、ご了承ください。

1月号の「ひろば」原稿締切りは、印刷の都合により12月1日(日)夕5時です。



## 〈サークル訪問337〉 数学を楽しむ集い

数学と聞くと、思わず身構えてしまふ方もいらっしゃるのではな

いだろうか。学生時代に苦手意識を持つと、どうしても拒否反応が出てしまふかもしれない。数学を楽しむ集いは、そんな方にこそ参加していただきたいサークルだ。

大学で十年以上教鞭をとっている講師の三浦先生を囲むように机を並べ、スライドを使用した説明を真剣に聞く。今回のテーマはエイトクイン問題と油分け算だ。

前者はチェス盤を使ったクイズ、後者は江戸時代から伝わる日本の和算のひとつ。どのように考えれば解けるのか、三浦先生にヒントをもらい、各自が隣の方と相談しながら、和気あいあいとした雰囲気

で問題を解く。私も参加させていただいた。エイトクイン問題は、頭だけで考えてもなかなか答えが出ないが、おはじきを使い手を動かして考えると、パズルのようで楽しい。また、油分け算の意外な解き方には驚かされた。

サークルのメンバーの参加の動機は様々だ。それに比べられるよ

うテーマは身近で楽しんでもらえ

るものを選んでいくとのこと。パズルのようなものであると、宿題をもらって家でゆっくりと解くなど、色々な楽しみもある。若い方もご

年配の方も関係なく、それぞれが集中して数学パズルに取り組む姿が印象的だった。

三浦先生は「数学が役立つ場面が身近にあることを体感してほしい」という。はじめはパズル感覚、クイズ感覚でも大丈夫。公民館で、気軽に数学を楽しみませんか。



和気あいあいと真剣に